



## ワード・プロセッサ

今回の競技課題は大きく和文課題と英文課題に分けられ、住宅リノベーションに関する資料と盲導犬に関する説明資料の作成を課題としました。

和文課題の文章入力については、皆さん日頃から練習されている成果もありよくできていたと思います。英文課題の文章入力については和文ほど入力に慣れていない印象を受けましたので、和文だけでなく英文の入力にも慣れ親しんでおくといでしょう。

また、課題の作成には文章を入力するだけでなく、図形や画像・表を入力するスキルやインデント等を使用してレイアウトを設定するスキルが求められます。全体的にそれらの設定に時間がかかっている印象があったため、普段あまり使用しない書式の設定について確認し、全体の作業時間を意識した練習に取り組むとより良い文書を作成できると思います。今後の更なるレベルアップを期待しています。

改善点もあるかと思いますが、皆さん慣れない環境下、限られた時間の中で精一杯頑張られたことと思います。大変お疲れさまでした。



## パソコン操作

視覚障害者のパソコン操作の特徴は、画面内に表示されている文字や、キーボード入力した内容、選択しているメニュー項目の名称などを読み上げる「画面読み上げソフト」や、それらの文字を大きく表示する「拡大ソフト」を活用し、マウスではなく主にキーボードやショートカットキーによって操作する点にあります。

今回の競技課題は、表計算ソフトを用いた作業、インターネット検索、そして漢字変換の誤りなどを探す文書校正の三つでした。

表計算ソフトの課題では、基本となるシート内のデータに追加・削除などの変更を行い、それを基に関数を用いて集計する内容でした。変更箇所は別に用意されたテキストファイルを確認しながら作業する必要があり、晴眼者にとっては比較的基本的な内容であっても、画面全体を即座に把握できない視覚障害者にとっては、集中力を要する非常に手間のかかる作業であったと思われます。

インターネット検索の課題では、目的のページへ正確かつ迅速にアクセスできるか、さらにそのページ内から適切な情報を見つけ出せるかが重要なポイントでした。

関数の記述内容や検索課題における的確な解答から、参加された選手一人ひとりの高い技能と日頃の努力が十分に感じられました。

最後の文書校正の課題は、音声を聴きながら変換ミスなどを見つけていくものでした。出場された皆さんは、普段から音声情報に集中して向き合う訓練を積まれていることがうかがえました。

今回出場された皆さんが、今後も継続してパソコンスキルの向上に取り組まれ、その成果が一人でも多くの視覚障害者の就労につながっていくことを心より願っています。



## DTP

第23回アビリンピックの競技課題は、「京都・大原の里散策」の告知チラシの制作でした。DTPとは、PCを活用して印刷物のデータを作成することです。印刷物は文字や画像の間違があると内容によっては、印刷のやり直しが生じることもあり、印刷部数が多いと大きな損害が発生します。DTPを仕事として行うには前提として持って頂きたい知識がありますので、再確認をして欲しいと感じました。

今回は、【京都・大原の里散策】の告知チラシで春を感じさせてもらえる作品を期待しました。今回も、テキストを少なく、写真・画像を多く支給しましたが、写真・テキストの配置や体裁に、見てもらうことに関してのイメージが不足していると感じました。

印刷物をたくさん見て作品に活かせるようにしてほしいと思います。

地図の扱いも支給画像のまま貼り付けされたように思います。

仕上がりデータでは、印刷データの基本的に必要な事柄問題ないと様に思いました。DTP作業は、データ納品が基本となります。今後もレベルの向上を期待しています。





## 喫茶サービス

喫茶サービスの「規定競技」では個人のサービスのスキルを問い、「自由競技」は複数のサービス員がグループでいかに協力し合いながら動けるかを競うものでした。

残酷ではありましたが、たった一人で衆目を集めながら淡々と進める規定競技のサービスに、選手の皆さんは相当な緊張を感じたことでしょう。しかし「笑顔」から開始するサービスの基本はすべてにつながり、選手の皆さんが自分のペースを早くつかむのがポイントとなりました。こればかりは練習量で差が出たようです。

しかしながら後半の自由競技は、皆さん水を得た魚のようにイキイキと動き回り、きちんと周囲の選手の状況を理解しながら協力し合ってサービスをを進める姿が印象的でした。選手の皆さんが普段の生活で一般に飲食店を使うときのサービスへの関心度、観察力が自分のサービスの「工夫」としてプラスされ、より洗練されていたようでした。全国レベルでも高水準と思われるます。

選手の皆さんは他では味わえない、この競技の貴重な経験を今後の生活に活かしてってください。素晴らしい大会でした。



## ビルクリーニング

2025年1月31日、アビリンピック京都大会が京都府立京都障害者高等技術専門校で開催され、昨年に引き続き、広い体育館が競技会場となりました。大勢の観客が見守る中、7団体11名の選手が日頃の練習の成果をいかに発揮し、甲乙つけがたいレベルの高い競技内容となりました。全体として時間配分には今後の課題が感じられましたが、練習を重ねることで、さらなる向上が十分に期待できる内容でした。金賞を獲得された選手は、とても丁寧な作業で仕上がりの完成度が非常に高く、安定したパフォーマンスを見せていました。一方で、タイムについてはやや時間を要していたため、今後の練習次第でさらなる改善が期待されます。銀賞の選手は、安定感のある作業でミスも少なく、全体として完成度の高い競技内容でした。銅賞の選手は、基礎技術を十分に備えており、まだ一年生であることを踏まえると、今後の練習次第ではさらなる上位を目指せる内容でした。惜しくも入賞を逃した選手についても、いずれも素晴らしい競技内容であり、全体のレベルの高さを強く感じました。12月にはアビリンピック全国大会が愛知県で開催されます。最優秀賞を獲得された選手には、全国大会での入賞を目指して、引き続き努力されることを期待しております。



## オフィスアシスタント（スタンダード）

「発送書類の封入作業」と「社内便の仕分け作業」の競技を行っていただきました。今回も、将来的に全国大会を目指していけるような競技時間や競技内容で実施しました。特に「社内便の仕分け作業」は、今回名簿を確認して仕分けをしなければ加点が増えないような競技内容としたため、より多くの確認作業が必要となりましたが、皆さん丁寧に行っていただきました。競技に参加した経験を生かして、これからも、更にステップアップして、お仕事や学校での活動等に生かしていただきたいと思います。スタンダード競技に参加した選手の中から、来年度は「アドバンスに挑戦したい」と思っていただけの選手が出てくることを楽しみにしております。ご参加いただきまして有難うございました。



## オフィスアシスタント（アドバンス）

今年度は昨年と同じ課題に「配布物の準備作業」を加えて3つの競技を行っていただきました。また、「社内便の仕分け作業」は部署名数を増やし、更に宛名を全て社員名簿で確認するような設定としたため、1件の仕分けに多くの時間を要し、昨年よりも更に複雑で細かな作業内容となりました。これは、皆さんの対応力が向上していることと、年々全国大会の競技内容が複雑になっていることから、京都大会の競技内容も合わせた対応としております。

アビリンピックは競技ではありますが、競技の結果より大切なことは、目標に向けた日々の努力やチャレンジしていくことだと思います。これからも、更なる高みを目指して頑張ってください。

今後の皆さんのお仕事や学校での活動等に生かしていただければ幸いです。ご参加いただきまして有難うございました。





## 紙箱組立（貼り箱）

昨年は雪のため北部から参加することができず一名だけの競技となりましたが、今回は北部からの選手も出場することができました。

第一回から大会を支えてきた紙箱組立競技がなくなるのは寂しいことですが、これまで参加者が培ってきた「丁寧なものづくり」の精神はどの職種においても共通する資質だと思います。

今回出場の四名の出来映えも最後にふさわしい手仕事だったと思います。この「丁寧にやり遂げる力」をこれからの仕事や人生に於いて、大きな自信となることを心より願っています。



## 製品パッキング

今年度は3名の選手に出場いただき、無事に終了いたしました。競技経験者の方、新たにご参加の方とまだ少数ではありますが、競技の広がりを感じられたことを大変嬉しく思います。

今大会も各選手がご自身の現在のスキルと課題に向き合い、時間内の完遂への挑戦、完璧な品質への挑戦、と競技に取り組まれている姿が印象的でした。限られた時間の中で各々が自身の目標を最後までやり遂げようとしたプロセスが、本競技における最大の成果であると評価いたしております。

今後、選手によって、スピードを上げるべきか、正確性を磨くべきか、次のステップは異なります。本競技の難しさは『スピード』と『品質』という、二つの要素を両立させなければならない点にあります。実際の梱包現場では『早くても不適合品では意味がない』と同時に、『丁寧でも納期に間に合わなければ仕事にならない』という厳しさがあります。

本競技の目的を理解し、自分に足りない要素を分析して対策を立てることで、競技レベルは必ず向上します。この経験を糧に、次回の大会では、それぞれの課題に取り組まれた姿を再び見せていただけることを楽しみにしております。一生懸命に挑戦された選手の皆様、本当にお疲れ様でした。



## 表計算

表計算の競技に出場いたしました選手の皆様、関係者の皆様、お疲れさまでした。

今回は、4つの問題を出題いたしました。

・問題1は、Excelでよく行う編集作業で勤怠表を作成する問題でした。編集作業は、日頃行っているようで、大変できています。

・問題2は、勤怠表に日付、時間に関する書式設定や関数の設定を行う処理でした。年月を入れたら、日付、曜日の一覧が作成される。それから出勤時刻、退勤時刻、休憩時間を入れると、何時間出勤しているかを計算する関数の作成する問題でした。

・問題3は、前年も出題しました文字列の分割に関する問題でした。このレベルの問題になると、関数を複数組み合わせで作成することになります。表計算で使用していますExcelは、多くの関数を用意されており、関数をどのように組み合わせると課題が解けるかを考えていきましょう。

・問題4は、通常のグラフ作成の問題でしたので、すぐに出来上がったと思います。

今回使用しましたExcelのバージョンは2021でしたが、最新版の2024が出てすでに1年半経っています。2024にも新しい関数や新しい機能が追加されています。参照または導入してみてください。

また、最近注目を浴びているのが、AIの導入です。どのように仕事などにAIを活用していくかというのも考慮していきましょう。

Excelには、VBAを使うことができます。VBAとAIを活用することで、効率の良い作業を行うことができるとおもいます。今回は、皆さんよく表計算がわかっているようでして、大変高レベルになりました。

今回の大会におきまして、大会スタッフの方々をはじめ、関係者の方々のご尽力により、無事終了しましたことを深く感謝いたしております。今後の選手の方々の仕事や勉学の頑張りを期待しております。





## 電子機器組立

電子機器組立競技に出場された選手の皆さま、長時間の競技お疲れ様でした。今年度も技能検定2級課題に則した内容で競技を実施しました。競技中、アクシデントが発生した場面もありましたが、いずれの選手も落ち着いて作業を進めようとする姿勢が印象的でした。限られた時間の中で丁寧さと正確さを保ちながら作業を進めようとする取り組みから、これまでの練習の成果がうかがえました。

なお本競技では、一部の製作物を事前課題として準備する方式を採用しましたが、技能検定2級および全国大会では、こうした事前課題部分も含め、すべてを制限時間内で製作することが求められます。

今回の競技を通じて、はんだ付け技術のみならず、時間配分、感度調整を含む動作確認など、今後の技能向上につながる課題も見えてきたのではないかと思います。これらは、今後の技能向上に向けた貴重な財産となるはずで、今回の結果に自信を持って、さらなる技能の向上に挑戦していただくことを期待しています。日々の積み重ねや、目標を持ってものごとに取り組む経験を、これからの生活やお仕事に活かしていただければ幸いです。



## ホームページ作成

2025年度のアピリンピック「ホームページ作成」競技の今年の参加者は1名でした。選手と専門委員全員の合意があったので、15分前倒して競技を開始しました。競技はトラブルもなく、静かに進行し、時間いっぱいまで終了しました。

選手の成果物をまとめると次のような内容です。HTML/CSSの基礎的な知識は習得されていますが、残念ながら、時間いっぱいまでかかって、すべての競技課題を終えることが出来なかったことから、実務経験は少ないと思われます。日々の業務の中でも、Validator等を使って正しいHTML/CSSを書くように心がけていただければ、今後の更なるスキルアップに繋がると思います。また、「mdn html」で検索をすると、「開発者向けのウェブ技術」という、MDNが提供するコンテンツがあり、自己学習に使うのにおすすめです。



## パソコンデータ入力

### 課題1

出場者の皆さん、20分間という限られた時間の中で、最後まで高い集中力を維持して取り組まれる姿に深く感銘を受けました。今日まで積み重ねてこられた練習の成果が、その一打一打に表れていたと感じます。

データ入力は、あらゆるコンピュータ処理の「土台」となる非常に重要な業務です。たとえシステムが高度になっても、入力されたデータに誤りがあれば正しい結果は得られません。だからこそ、最も求められるのは「速さ」以上に「正確さ」です。

基本練習は時に単調に感じることもあるかもしれませんが、しかし、正しい指使いを意識した平仮名入力こそが、正確で疲れにくい技術への一番の近道です。今日の経験を糧に、さらにステップアップされることを心から応援しています。

### 課題2

課題2は、完成見本を見ながら課題として提示されている文書中の誤字を修正ルールに従って修正する競技でした。20分という短い時間で間違いを探し、正しい文字を入力しなければならないため、集中力と校正をする力が必要な競技でした。どの課題にも共通しますが、出場された皆さんが、最後まで集中力をもって取り組まれる姿には強い感銘を受けました。データを入力する作業は、速さだけではなく、正しく入力することということが必要であり、誤字があればそれに気づくことも求められます。今後もデータを正確に入力する練習を行い、さらなる技術の向上を目指されることを心から応援しております。

### 課題3

出場者の皆さん、20分間という限られた時間の中で、最後まで高い集中力を維持して取り組まれる姿は、どの課題にも同じようにいえることですが、深く感銘を受けました。

帳票作成は、今後社会に出られた場合でも必要となる業務の一つです。特に、計算（関数を用いる等）の部分等については、「間違っていました」ということで済む問題ではありません。それ故に、計算結果を再度確認するということが必要となってきます。

練習時には、作成するスピードよりも、正確な数値入力且つ計算式（関数）の正確性を重要視して臨むことが良いと考えます。

これからも、様々な帳票作成の練習を行い、さらに技術の向上を目指されることを心から応援しております。

本日は、本当にお疲れさまでした。

